

北海道学生サッカー連盟 新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン【第2版】

北海道学生サッカー連盟の活動に携わる全ての関係者は以下の内容を踏まえつつ、感染防止策に取り組んでください。

1. 事前の対応

北海道学生サッカー連盟、当番校ならびに各参加チームは、会場において感染防止対策に向けた準備を行うとともに、感染防止のために選手・スタッフが遵守すべき事項を明確にして事前に連絡し協力を求めることが重要です。

(1) 参加者への連絡事項

北海道学生サッカー連盟が参加予定チームの選手・スタッフ、審判および役員に対して事前に求める感染拡大防止のための措置として、以下の項目が挙げられます。参加予定チームは、以下の項目を大会開催前ならびに大会期間中に各チーム内で徹底ください。また運営に関わる役員、会場スタッフ、その他関係者全員に対しても同様に事前伝達してください。

- ① 以下の事項に該当する場合は自主的に参加を見合わせる。
 - ・ 体調が良くない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ・ 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる
 - ・ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ② 参加者全員が運動・プレー中以外は、マスクを着用する。
- ③ 参加者全員が健康チェックシートに記入のうえ、当番校へ提出する。
- ④ 大会に参加する上で北海道学生サッカー連盟が示す注意事項を遵守する。
- ⑤ その日の他人との接触状況を可能な限り記憶しておく。
(感染者発生発覚の際の濃厚接触者特定に役立ちます)
- ⑥ 各チームでアルコール消毒液及びゴミ袋を持参し、衛生環境の保全に努める。また、手洗い後に手指を拭くためのタオルは各自が持参する。その他、衛生環境については、開催地区の自治体および地区協会の方針に従って保全に努めること。

2. 大会会場における感染防止対策

北海道学生サッカー連盟ならびに当番校は以下の点に留意して会場の設営、大会運営を行ってください。

(1) 諸室

運営諸室において、以下の対応を行ってください。

- ・ 換気や距離の確保に留意し、3密が発生する環境を極力阻止する
- ・ 座席を設置する際に前後左右 2m以上の間隔をあげ、お互いが正面に座らないよう配慮する
- ・ 喫煙所は設けない

(2) ロッカールーム

基本的には使用しないでください。利用する場合は、以下のことを守るように努めてください。

- 広さにはゆとりを持たせ、選手同士が密になることを避ける
- ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する
- 常時換気を行う
- 選手及びスタッフはマスクを着用する
- ロッカールームでの滞在時間を短くするため、着替えに限定するなど工夫する
- シャワー室の使用は禁止する

(3) 審判控室

審判控室について、以下の準備を行ってください。

- 広さにはゆとりを持たせ、審判員同士が密になることを避ける
- 常時換気を行う

審判員の注意事項について、以下のことを審判員に伝えてください。

- 審判員は競技以外ではマスクを着用する（第4の審判員は競技中もマスクを着用する）
- 審判員はシャワーを交代で使用し、密集を避ける
- 審判員同士のミーティングは会場で3密とならないスペース等を探して実施する

(4) ベンチ

必要に応じてベンチで間隔を空けて座れるよう、追加ベンチを設置することも検討する。その際、暑熱対策として屋根がある方が望ましい。

(5) 代表者会議におけるチームへの伝達事項

運営に関わる注意事項、チームへの依頼事項として以下の項目を参加チームに伝達してください。

- 試合前、試合後に相手チーム、審判団との握手は実施しない
- 両チームベンチへの挨拶を実施しない
- 密接になる円陣は行わない
- ハイタッチ、抱擁を自粛する
- ピッチ内でも咳エチケットを守り、つばを吐く、手鼻をかむなどの行為を行わない
- 口に含んだ水を吐かない
- ドリンクボトルを共有しない
- 前後半それぞれ最低1回の給水タイムを設ける
- 水や氷を溜めたクーラーボックスを共有しない
- タオルを共有しない
- ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも互いの距離についてしっかりと配慮する
- ベンチではアップする選手を除き、マスクを着用する
- アップ前後、ハーフタイム時、選手交代時の手指消毒を徹底する
- 試合終了後1時間以内に撤収する

※上述の伝達事項は、参加チームが大会参加にあたり遵守すべき事項であるため、北海道学生サッカー連盟は各チームに事前に伝達する。

(6) メディア対応

メディアに対しても、(1)参加者への連絡事項を遵守するように伝達してください。加えて下記事項にも留意するように伝えてください。

- 健康チェックシートを提出する
- 取材者は取材対象から2m の距離をとり、取材者同士も最低1m 間隔を保って取材をする

(7) 健康チェックシート

- 参加チームの感染対策担当者は原則として主将とする
- 37.5 度以上の発熱があった場合、解熱後1 週間は公式戦への参加は認めない
- 感染対策担当者は登録メンバー内に、1 週間以内に 37.5 度以上の発熱があった者がいないことを確認のうえ、スタッフも含めた全てのメンバーの健康チェックシートを代表者会議で提出する
- 学生リーグの1 部では、当番校が健康チェックシートの取り纏めを行い、MCが確認を行う
- 学生リーグの2・3部および1リーグでは、当番校が健康チェックシートの取り纏めと確認を行う
- 参加チームごとに、チームの構成メンバーの住所と連絡先のリストを作成しておき、提出を求められた際には速やかに提出できるようにしておく

(8) 試合観戦

今年度の北海道学生連盟主催大会は、いずれの会場においても無観客で運営するため、一般の方の観戦はお断りします。また、当該試合チームのメンバー外の学生の応援および来場も禁止します。

これらの対応を実施しても感染リスクをゼロにすることはできません。大会に参加するチームの関係者は、その点を理解した上で大会に参加してください。

また、運営関係者及びチーム関係者全員にマスク着用を義務化^{注1}することにより、熱中症を発症するリスクが高まりますので、こまめな水分補給を心掛けてください。

注1…熱中症予防の観点から、2m以上のソーシャル・ディスタンスを確保できる場合は、マスクを着用しなくても構いません。

3. 事後対応

万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、当番校は大会当日に参加選手・スタッフ、審判および運営関係者から提出された健康チェックシートを、公式記録とともに北海道学生サッカー連盟に送付してください。上記の各リストは当連盟にて保存期間（少なくとも4 週間）を明記した上で保存します。

大会期間中ならびに大会終了後2 週間以内に、具合の悪い選手・スタッフが出た場合には必ず、当連盟へ連絡をしてください。

万が一参加選手・スタッフ、運営関係者の中から大会期間中ならびに大会終了後14 日以内に新型コロナウイルス感染症の感染が判明した場合は、保健所の指示に従うとともに、北海道学生サッカー連盟ならびに所属地区協会にその旨報告してください(次ページのフローチャート参照)。

以上

大会開始 14 日前～大会終了後 14 日以内に参加選手・スタッフ・運営関係者の

新型コロナウイルス感染症の感染が判明した場合の対応

①参加選手・スタッフ・運営関係者の中で新型コロナウイルス感染症の感染が判明



②感染者が所属するチームの感染対策担当者に連絡



③チームの感染対策担当者が所属地区サッカー協会
ならびに北海道学生サッカー連盟に報告

【北海道学生サッカー連盟の連絡先】

- ・木島 敦（感染症対策理事）：携帯<090-3347-1495>
e-mail<atsushi-kijima@seisa.dohto.ac.jp>
- ・越山 賢一（学連理事長）：携帯<090-1307-4025>
e-mail<koshiyama.kenichi@i.hokkyodai.ac.jp>



④北海道学生サッカー連盟の感染症対策理事が北海道サッカー協会に報告

- 参照資料
- ・日本サッカー協会 サッカー活動の再開に向けたガイドライン
 - ・北海道サッカー協会 新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン
 - ・関東大学サッカーリーグ新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン